

美原区選出市議会議員との意見交換の振り返り

公共交通

- 美原区では公共交通の整備が大きな課題。大型商業施設の立地に伴い、区役所前のバスターミナルの活用が期待される。
 - ⇒ 「美原区公共交通を考える懇話会」との関係はどう考えるか。
 - ⇒ 他の市町村からの人口流入も考えないとバス交通は伸びない。
 - ⇒ 公共交通を考える会議には、大型商業施設の事業者に参加いただく方がいい。
 - ⇒ 高齢化が進み運転免許証を返納する年齢層が増えるため、本数や路線を考えていただけると助かる。

- 堺東へのバスも区民の意見を聞きながら考えなければならない。

交通事故

- 美原区は国道と高速道路があつて、通過交通による交通事故件数が多い。バイパスを作らなければ解決できない問題。

区民評議会

- 区民のできるだけの意見と参加を考えながら、区の大きな課題をどう解決していくかを、区民評議会の大きなテーマとしてほしい。
- バス交通については、学識経験者の委員からアドバイスをもらい、区民の意見を聞くことができる専門部会を設けることを検討してほしい。

がん検診

- 堺市は、がん検診の受診率が非常に低い。がんは早期発見、早期治療が大切だと言われているので、がん検診の受診率の向上を図っていただきたい。
- ⇒ がん検診は市町村や各医療保険により、受診の機会は開かれている。がん検診の受診も自主グループへの参加も、行けばいいことは分かっているけれども行動に結び付かない。検診の制度は既にあるので、美原独自としては、受診への意識付けが美原のつながりの中で現実的にできることはないか。

健康づくり活動

- チューブ体操は、コミュニケーションと健康面の観点から、非常に大切な取り組みである。曜日や時間帯を工夫して、校区単位で、子どもから高齢者まで一緒に参加できる取り組みもあっていい。現役世代も土・日曜日の方が参加しやすいと思う。
- ⇒ チューブ体操の活動を大きくするには、リーダーの養成が課題。すぐにはできないので、若い方対象に養成講座を開くとよい。
- ⇒ カノンの半数は、地区でお世話していただいている。しかし、仲間として固まっているグループに、新しい方がリーダーとして入っていけない。行政で指導者が活躍できる場所を確保してもらいたい。
- ⇒ 男性がコミュニティーに参加しやすいのは、子育てのタイミングだと思う。子どもと一緒に参加させる仕組みなら、参加しやすいのではないか。

健康全般

- 本テーマの課題解決としては、イベントを通じた地域の積極的な交流や、一人一人が健康に対する意識を高めていくことが重要。
- ⇒ 健康には、運動や検診も大切だが、基本的には食生活や口腔ケアなど生活習慣も大切。特に子どもへの食育、高齢者への口腔ケアに目を向けたい。

意見交換後の主な意見

- ⇒ 男性だけの体操教室も考えているが高齢者が中心になりそう。日曜日でも、若い方が集まっているところに呼んでいただければ、出向くことはできる。
- ⇒ 幅広い活動の促進には、校区福祉委員会や老人会、こども会等の活動と一体的に展開することが必要。
- ⇒ 子育て世代が、子どもを連れて自主グループの活動に参加してください、と言われても難しい。対象を子育て世代に絞るなら、自主グループとは別のことを考えないといけない。
- ⇒ 子どもの認知症への認識と理解により、子どもなりのサポートもできるのではないか。